

アークフラッシュ施工された老人施設 7年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **アークフラッシュNEWS をダウンロードによりご覧頂けます**

<< 超防汚塗料発表 >>

アークフラッシュ本部では、長年に渡り開発されていた本格的な防汚塗料を発表した。ガラスを始め、壁、金属、コンクリートを問わず塗装が可能である。コンクリートの場合は、落書き防止、張り紙の防止が可能となる。ガラスの場合には極めて撥水性が良い状態が非常に長く継続するなど用途はさまざまである。

10月28日(日)には代理店のイナバンの板金工場にて車への施工実験が行われます。

<< Uクリーン300g入り >>



**大掃除の季節が近づいてきました。
大掃除にはUクリーン！！**

洗剤革命に中身を提供した洗浄剤に新たに改良を加えました。

台所、洗濯場、色々な所におけるタイプです。
試供品としてお客様に提供するのも良いでしょう！！
お問い合わせはアークフラッシュ本部まで

<< 感染情報 >>

鳥取保健所は24日、鳥取市在住の60代女性から赤痢菌を検出したと発表した。県内発症者は今年2人目。女性の病状は快方に向かっており、命に別条はないという。同保健所によると、女性は今月11～15日に中国を旅行し、帰国後の17日に下痢

や発熱の症状を訴えた。18日に大阪市の病院で受診した際に検便を行い、22日に鳥取市に戻ったが、24日に感染が判明した

<< 院内感染と厚生労働省の関わり >>

第二次世界大戦が終了し、日本軍の特殊部隊731部隊は数多くの中国人を対象とした人体実験を行った結果をもって当時のGHQと司法取引を行い免罪された。

その731部隊の幹部の多くが戦後の薬品会社の創始者として薬品会社を設立した。

又、731部隊の多くが厚生官僚として役人として活動したのである。

人体実験を命令とは言え、平然とおこなった行為の中に、人間の命の尊重は消え去っていたに違いない。

ミドリ十字の創設者も、731部隊の幹部である。エイズ感染、C型肝炎感染と血液製剤による感染が起こる事は人命尊重ではなく、自己の利益優先と厚生官僚の事故黙殺が原因である事は明らかであります。

731部隊の人命軽視の考察が脈々と受け継がれてきたのが現在の厚生労働省なのです。

病院内で起こるMRSA、VRAなどのいわゆる院内感染は人命尊重の意識が高ければ、防げる事故であるにも関わらず、本日をもって10年前と殆ど意識が変わっていない事に医師としての使命感の欠落が見て取れるのであります。

自己の命は自己で守るという戦国時代さながらの意識が必要な時代なのでしょうか？

*** 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com

過去のアークフラッシュNEWSはホームページよりご覧になれます。